

# 孤立孤独対策施策プロジェクト

## 『LINEを活用した人とのつながり』作りを 一緒に考える

意見交換会資料



2週間お試し  
テストサイト

内閣官房 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員  
特定非営利活動法人エンリッチ

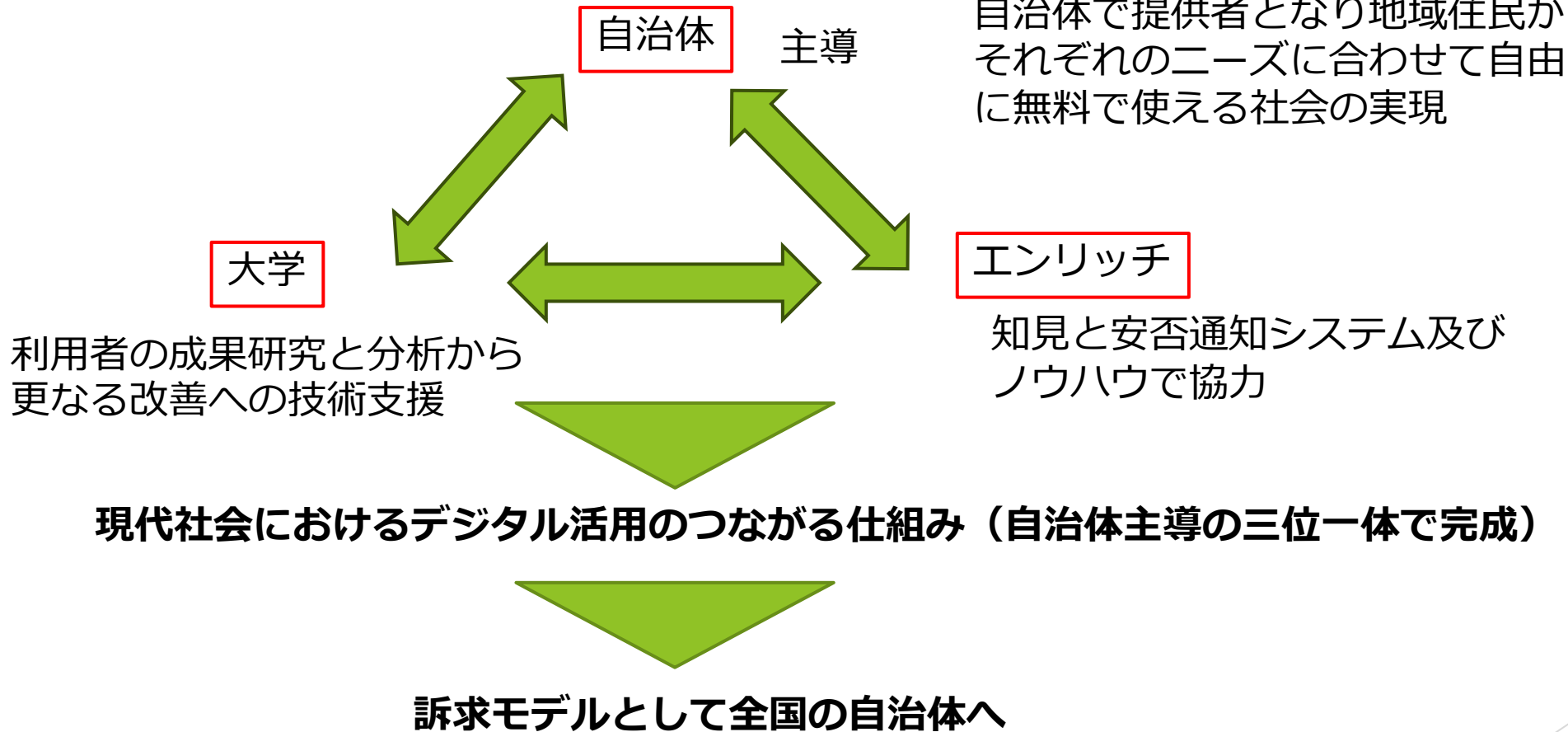
代表 紺野 功

2024年7月30日



# エンリッチが目指している姿

デジタル時代の新しいつながりのカタチ



# 提案の背景

現在、自治体や社会福祉協議会を中心に安否通知システムの提供活動を行っています。

スタートから進化を重ねて現在の「安否通知サービス」に至りましたが、まだまだ改良の余地があると考えています。

そこでかながわ人生100歳時代ネットワーク団体の有志による実証実験と協力支援により安否通知システムの機能アップと自治体導入の促進を図りたい。

見守りサービス

利用者・近親者の  
個人情報取得直接電話

つながりサービス

利用者同士による見守り  
個人情報登録なし  
互いに支える

安否通知サービス

個人情報なし、利用者・管理者  
どちらからでも利用開始  
汎用性が拡大

# 運用イメージ

LINE公式アカウント取得

有志プロジェクト

仮称かながわ人生100歳時代専用アカウント

プロジェクト会員の役割：団体、関係者、地域や個人に周知紹介  
エンリッチ紺野：Zoomや訪問での説明会の開催

## 協力団体への説明会を実施利用方法をアドバイス（エンリッチによる）

協力団体

一般法人

自治会・町会

民間団体・NPO

老人クラブ

大学

自治体

地域包括

単身者への訴求

親族・近親者を管理者に招待

身寄りのない単身者の場合は、  
地域や単身者同士または  
協力団体が受け皿となり対応

用意された専用アカウントに無料で安否通知サービスを提供

利用者の成果と声と収集し改善へ

例：1日2回配信、アラートの届くタイミング、つながりサービスとの1本化

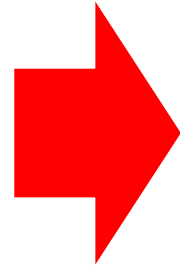
# 地域で互いに支え合える仕組みを提供

単なる見守りサービスではない理由

## 安否通知サービス

単身者と離れた親族

町会や自治会と単身者  
ご近所  
民生委員と単身者



昔は近所に世話焼きなおばさんがいたが、今は踏み込んだ関係が望まれない社会になった。だから、ICTを活用し程良い距離感でつながる方法が必要

一定の距離を保ちながら、もしもの際に駆け付ける関係構築

地域で地域の単身者を支える

## つながりサービス

集合住宅の単身者同士・自治会  
趣味の仲間やサークル

互いにつながる安心感と支え合える関係構築

地域で互いを気遣い支えあう



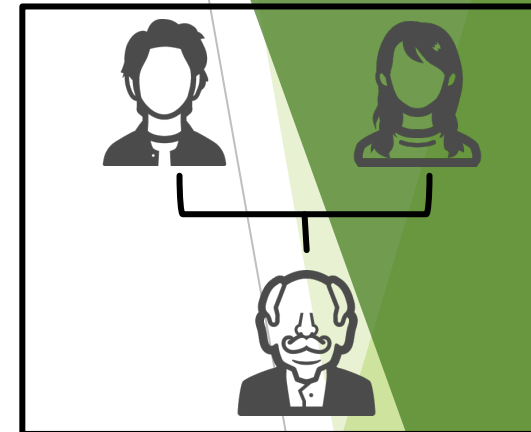
地域の人とのつながりを作る

# LINEを使った見守りサービスは、

利用者の端末からしか登録できず、エンリッチが電話をするので個人情報の入力必須

## 「安否通知サービス(コネクトハート)」では

利用者：日常的にLINEで安否確認を受け取りOKをタップする。  
管理者：利用者のOKタップがない場合にLINEで通知を受ける。  
例えば、利用者は単身の父で管理者は、離れて暮らす息子さん。  
どちらからでも個人情報なしで登録可能

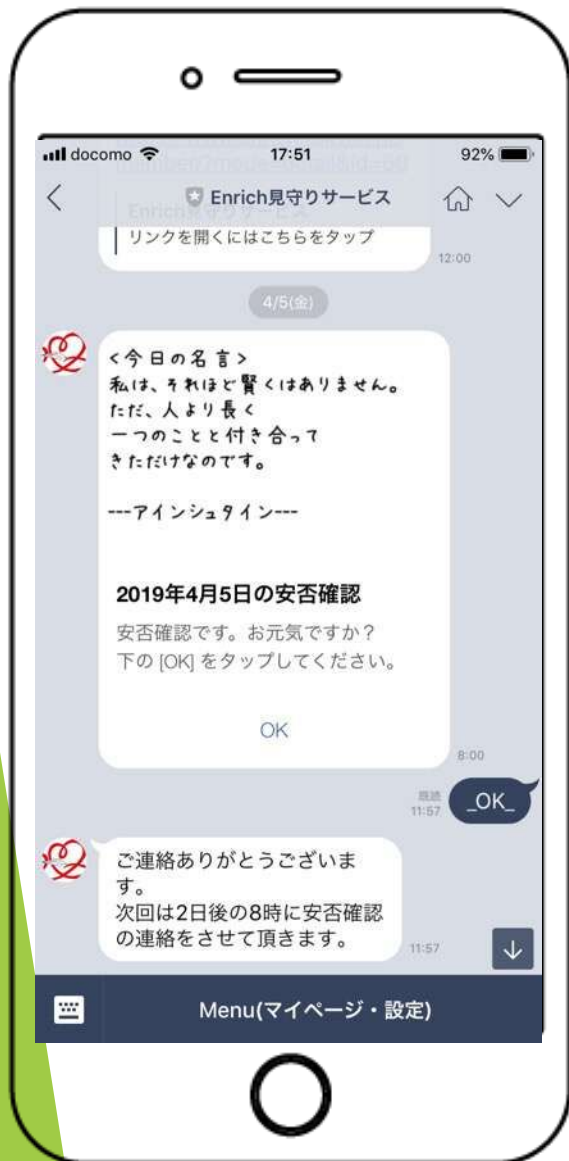


尚、個人利用の場合チーム内の管理者を1名追加で招待することが可能です。  
<例> 父が利用者として登録し、もしもの通知を受け取る管理者を息子と娘にしたい

# LINEを使った安否通知サービスコネクトハート

あなた自身がもしもの時の通知先（管理者）を設定できる。  
また、あなたが管理者となり見守りたい方を招待して、もしもの通知を受け取れる。

※直接利用者と近親者（管理者）をつなぐサービスです。



1

例えば、2日毎の任意の時間

安否確認にOK



安否確認

2

🕒 OKのタップがなければ  
24時間後再通知



安否確認

3

OKのタップがなければ  
3時間後

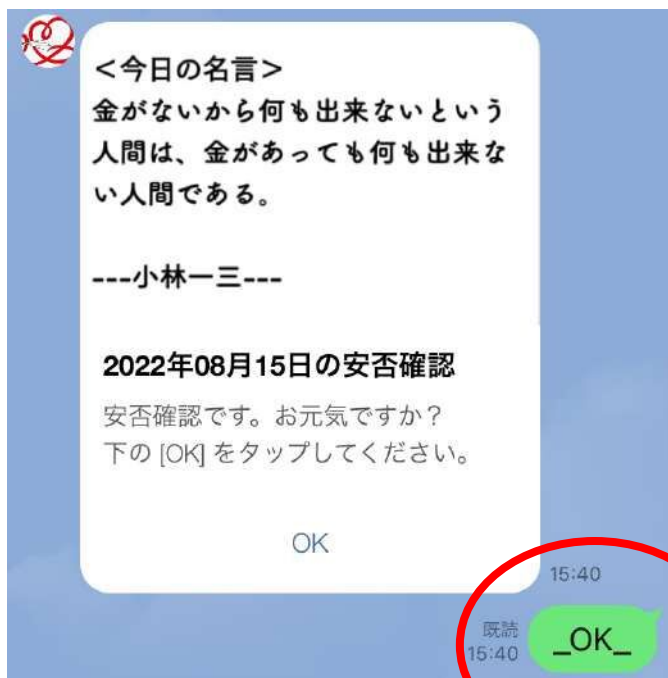
4

近親者(管理者) にLINEで通知



# 安否確認とアラート通知

利用者



## 管理者のLINEに通知



利用者マイページを開く

会員ID	2
ニックネーム	Enrich 紺野
登録日時	2022/08/15 10:32:25
会員ステータス	無料会員
有効期間	2022年8月29日 → <a href="#">期間延長(決済)</a>
安否確認	3日毎、11時
氏名(しめい)	紺野 功 ( )
性別	男性
生年月日	1960年1月15日
電話番号	

対象者を確認して  
連絡する

OKタップしなければ24時間後に再送し、  
更に3時間経過してもOK  
タップがない場合



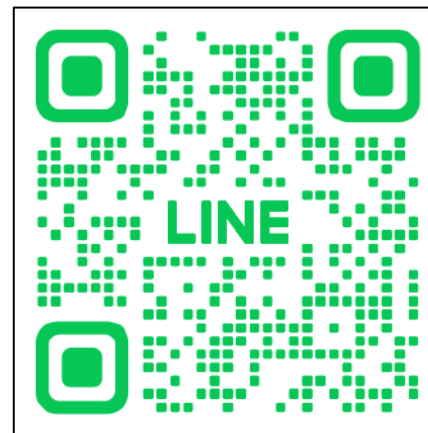
# 利用方法

- ① LINEのお友だち登録をする。
- ② チームを作成し、利用者は安否確認の配信間隔を設定、基本情報を入力する。
- ③ 招待コード（QRコード）を管理者へ送る。
- ④ 受け取った招待コードをタップ（QRコードの場合読み込み）、すればチームに登録され、利用者のもしもの通知先として紐付けされる。

※上記の登録は、管理者として登録をして利用者を招待することも可能

利用者への安否確認通知は、1,2,3,5,7,14日間隔と0から23時の時間を選択できます。

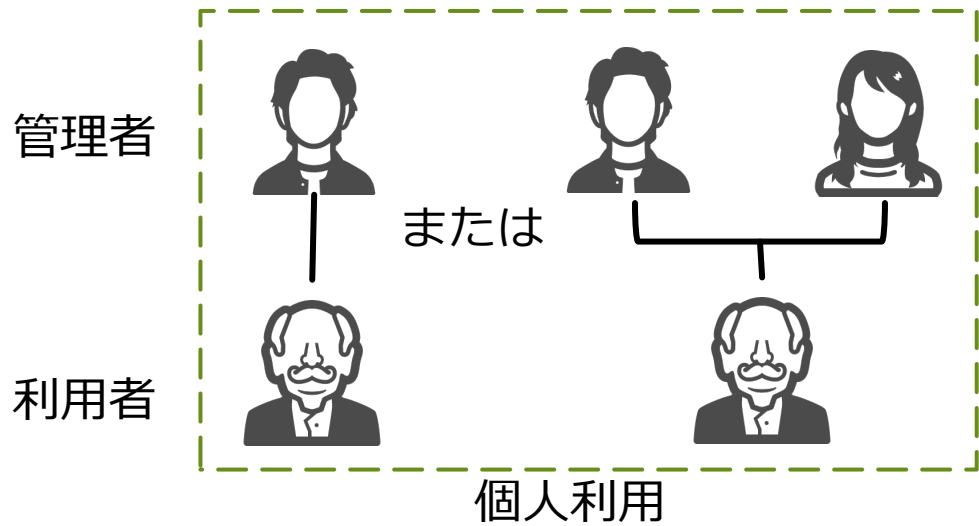
<例> 毎日6時  
3日に1度17時など



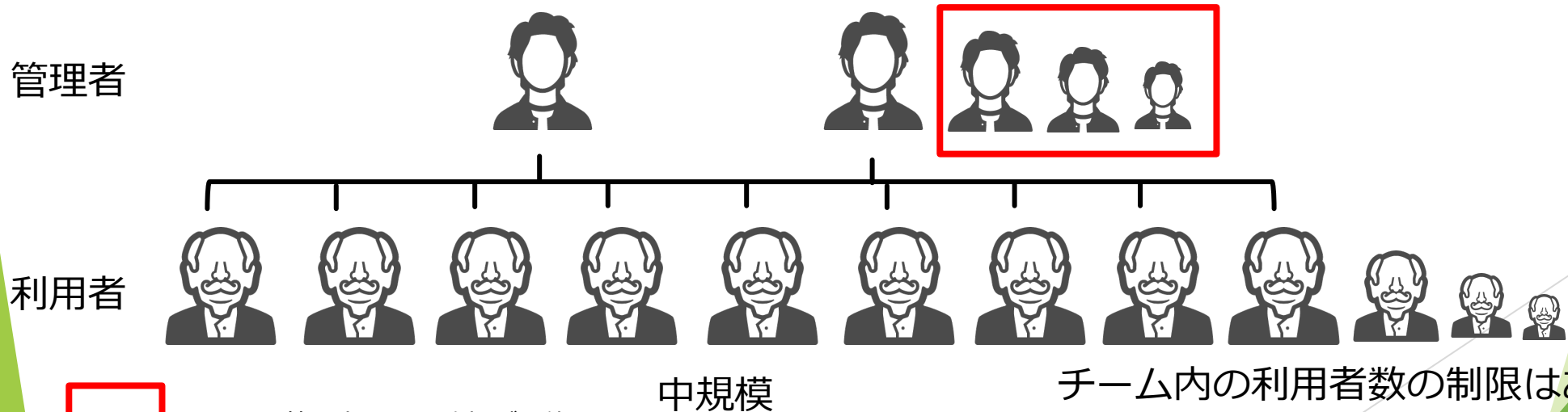
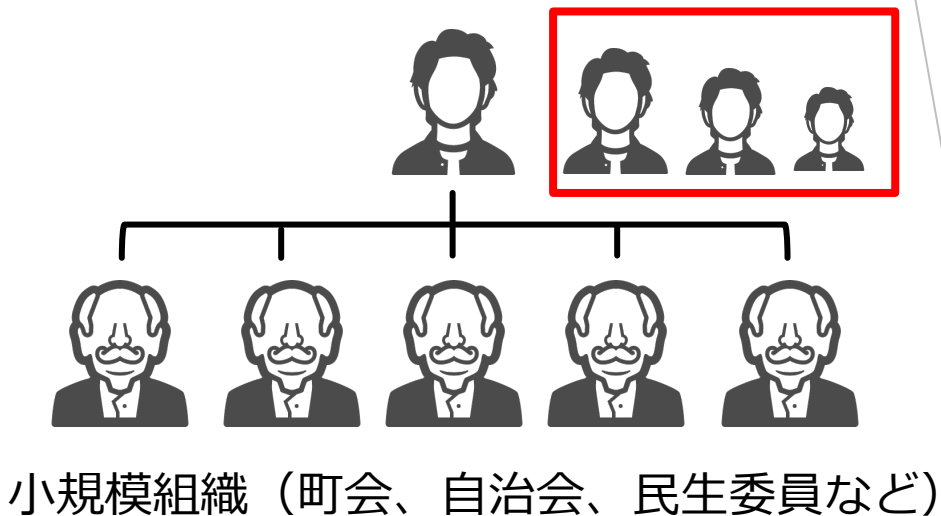
2週間お試し  
テストサイト  
[@746wruny](#)

# 安否通知サービスでは、

1つのLINEアカウントでチームは多彩に作れます。



管理者は、利用者のもしもの通知を受け取ります。



システム管理者による追加が可能

チーム内の利用者数の制限はありません。

# チーム設定

利用者の地域やエリアなどでチームを作り管理者を設定します。

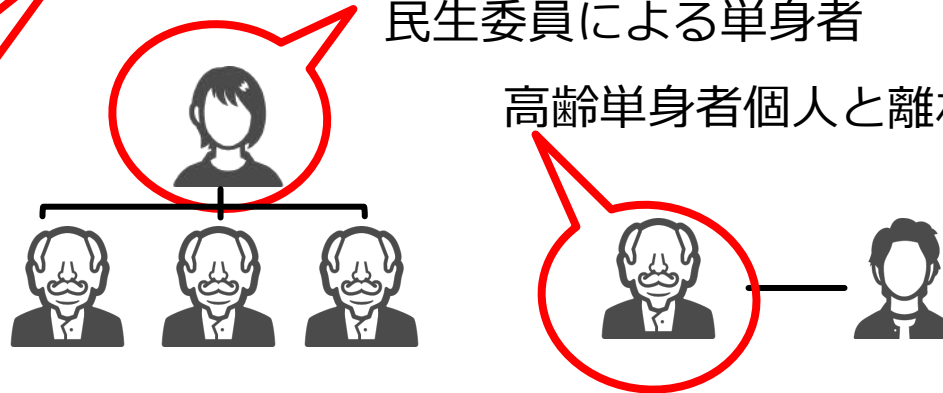
町会単位での利用。



集合住宅、管理組合や自治会での利用

民生委員による単身者

高齢単身者個人と離れた親族



管理者用登録のための登録手順動画

<https://youtu.be/O2zEG4Bgw24>



利用者用登録のための登録手順動画

<https://youtu.be/eigfK7DZ97o>

# 安否確認サービス登録と招待の流れ



## チーム情報

下記のQRコード及びURLコピーの送信によってチームに招待してあなたとの関係が紐づき成立します。

チームに利用者を追加する場合は、相手にQRコードの読み込みや画像として送信。または、以下のURLコピーボタンをタップしてテキストによる送信を行なって下さい。



### QRダウンロード

このひろこから安否通知サービスへの招待です。

招待相手への送信情報をコピーする

チーム名

## 招待用QRコード



<https://new-avance.com>

このひろこから安否通知サービスへの招待です。

下記のURLをタップしてLINEのお友だち登録後に開いたテキスト入力内にリンクの為のコードが表示されていますので、実行してトーク内に入力して参加の承認をして下さい。

[https://line.me/R/dmMessage/@81ewusg/3member\\_memadd\\_7820114710](https://line.me/R/dmMessage/@81ewusg/3member_memadd_7820114710)

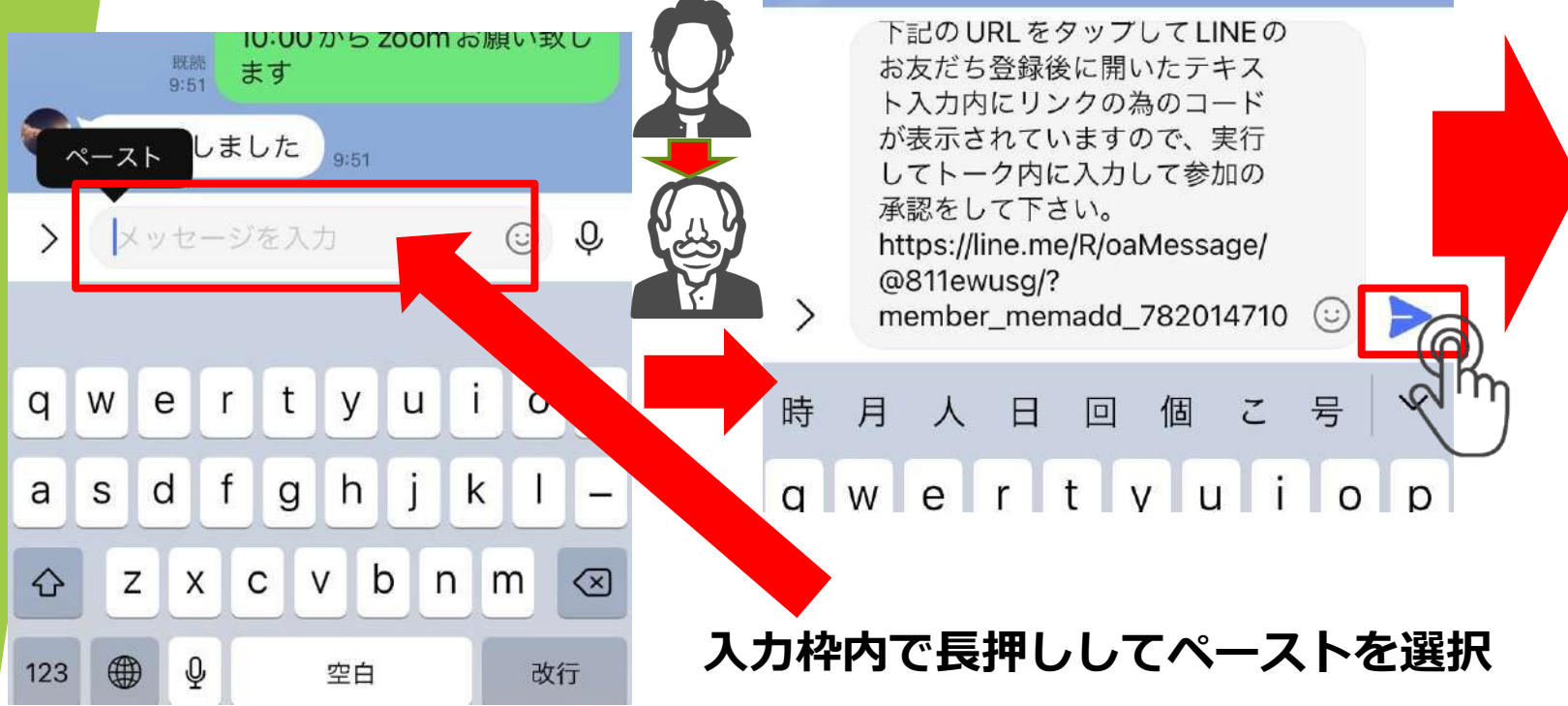
OK

あなたの役割を選択

管理者：利用者の安否確認未対応(24時間後に再送し、更に3時間経過してもOKタップされない場合

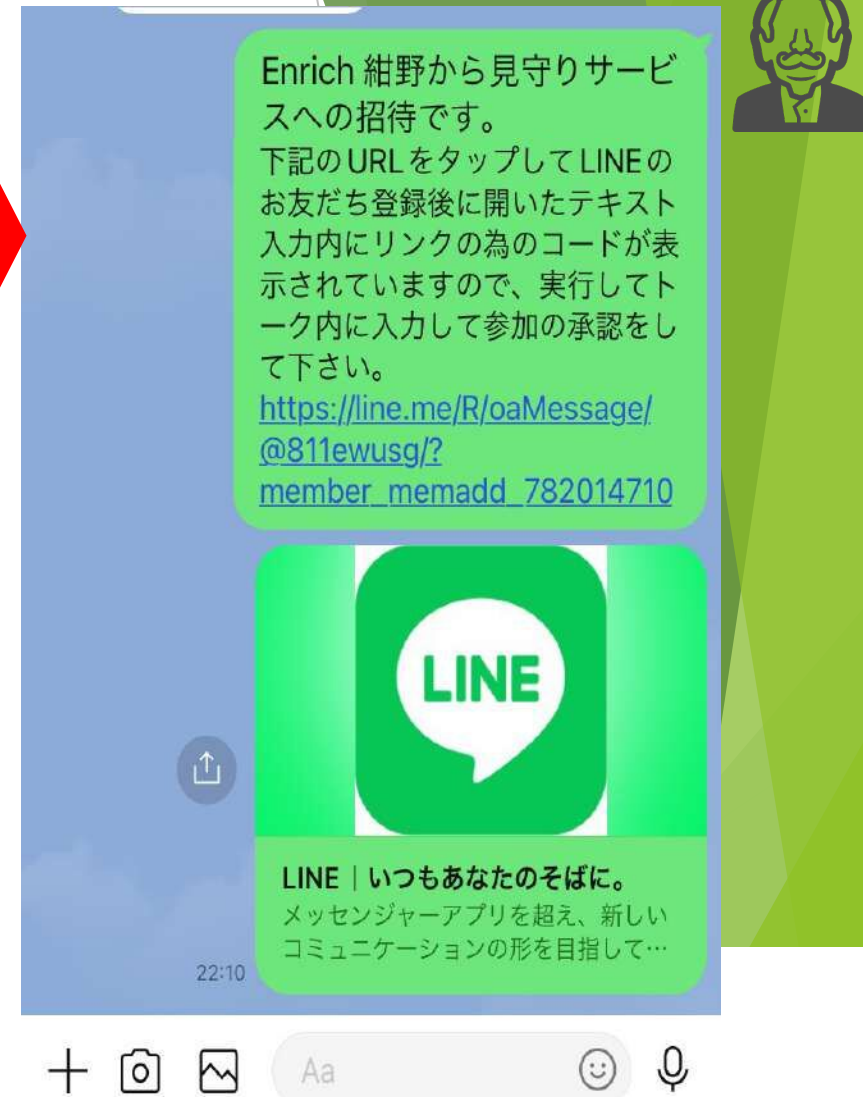
<チーム専用のQRコードを生成>  
QRコードはダウンロードが可能  
URLのコピーは、そのまま通知先を選択してテキストで貼り付けられます。

# 利用者招待の方法 LINE



招待する相手が、LINEを使っている場合は、LINEのお友だちから相手を開き入力部分にペースト

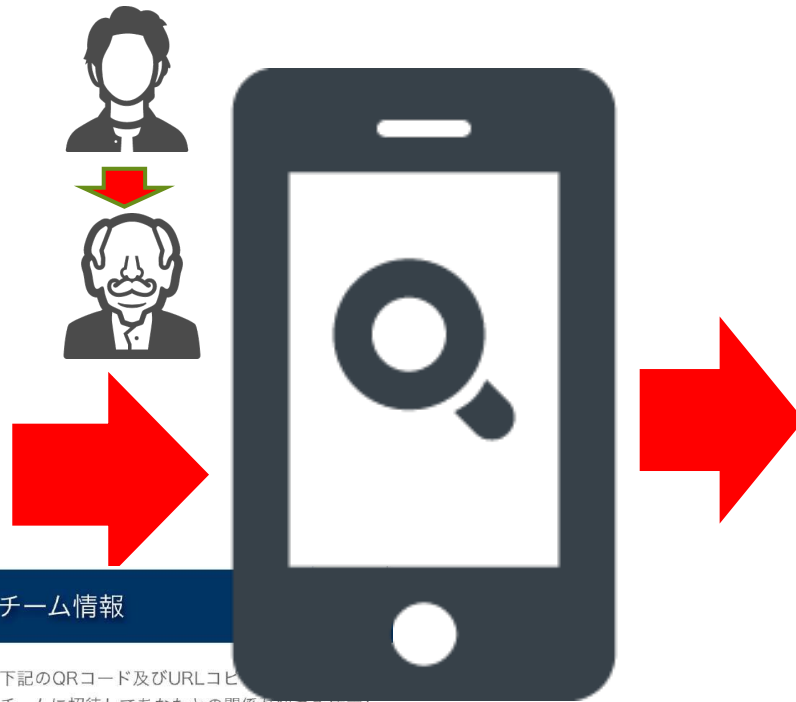
LINEでの友だちになっていない場合は、テキスト送信やQRコードをメール添付などで送信可能



# 利用者招待の方法 対面の場合



案内チラシなどに生成された招待用のQRコードを入れて作成



チーム情報

下記のQRコード及びURLコピーボタンをタップして、チームに招待してあなたとの関係が紐つき成立します。

### 利用者のスマホカメラで読み取り

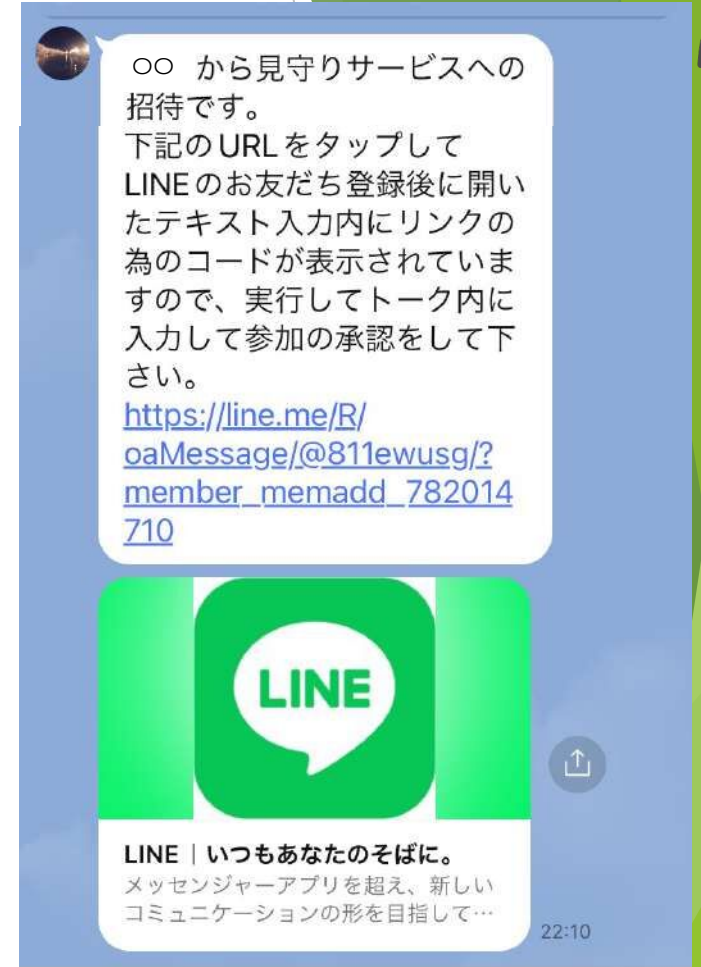
チームに利用者のスマホカメラで読み取りコードの読み込みや画像として送信。または、以下のURLコピーボタンをタップしてテキストによる送信を行なって下さい。



QRダウンロード  
こののひるこから安否通知サービスへの招待です。

招待相手への送信情報をコピーする

チーム名



〇〇 から見守りサービスへの招待です。

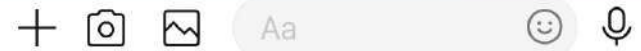
下記のURLをタップしてLINEのお友だち登録後に開いたテキスト入力内にリンクの為のコードが表示されていますので、実行してトーク内に入力して参加の承認をして下さい。

[https://line.me/R/oaMessage/@811ewusg/?member\\_memadd\\_782014710](https://line.me/R/oaMessage/@811ewusg/?member_memadd_782014710)



LINE | いつもあなたのそばに。  
メッセージアプリを超え、新しいコミュニケーションの形を目指して...

22:10



利用者のスマホ画面

# つながりサービス



## LINEのプッシュ通知で安否確認!

あなたの大切な方々をグループにし、  
そのグループへの安否確認送信でグループ内で  
無事を確認しあえます。

ケース:3日間隔通知



# つながりサービス(利用グループは?)

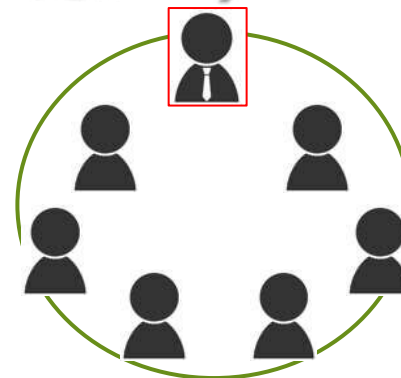


管理者(リーダー)



利用者

管理者(リーダー)が、見守る対象者とLINEでグループを作り、そのグループに「Enrich見守りサービス」を招待することで利用がスタートします。



LINEグループ登録

<利用対象グループ・組織等>

- ・自治会、町内会の単身者同士
- ・単身高齢者の趣味の仲間
- ・離れた親族など

※ここで言う管理者(リーダー)とは、つながりサービスを開始する際のLINEグループを作成して仲間を招待する人を意味します。  
また、グループ設定者は配信間隔の変更が可能です。



# つながりサービスでは



グループ内で、つながることで

1.ちょっとした異変に気付き易い

最近いつもより対応が遅いけど大丈夫？

2.何気ない会話によってつながりを実感

安否確認以外にコミュニティとして顔を合わせなくとも  
近況などのやり取りでつながりを維持、リアルの関係へ

3.災害や防災情報などグループ内で配信

日頃使うツールとして利用されているものに

大切なお知らせや情報を配信することで見逃しが無い

また、地域の居場所情報配信によって孤立者を居場所へ誘導

4.もしもの際の早期発見と対応

地域で利用することで、異変に対して即行動ができる

※知らない人と一緒に嫌だという方は、  
安否通知サービスへ

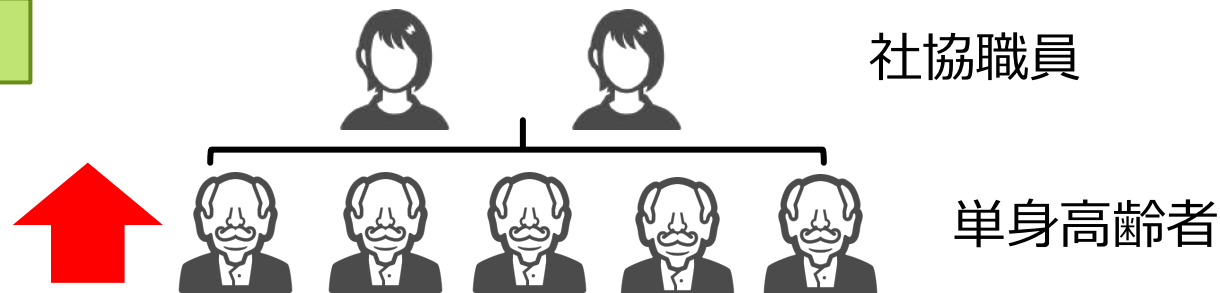
# 活用事例

地域で地域の方を見守ります。

## 安否通知サービス

栗山町社会福祉協議会

もしもの時のアラート通知



身寄りのない単身高齢者を社協の職員が家族のように、もしもの際にアラート受信して対応

## つながりサービス

東京多摩ニュータウン高齢化が進む集合住宅 参加者同士が互いに見守る

高齢化対策委員会が情報紙で、単身入居者に参加を呼びかけてつながりサービスを利用

初年度16名、現在では36名でグループLINEでつながり、安否確認を利用。

その他の効果として、地震の際にリアルタイムで互いの安否確認や避難場所などが通知されグループ参加者の安心につながった。

2年目30名に増員され、グループ内でちょっとした何気ない会話などにより、関係性が高まりリアルでのつながりに発展。地域コミュニティツールとしても活用されている

# 関心協力頂ける団体

- ✓ LINEアカウント取得と費用負担（月額15,000通まで5,500円,30,000通まで16,500円）
- ✓ 安否通知サービスの利用・活用と必要な方への訴求ならびに評価レスポンス
- ✓ 大学が協力頂ければ、利用者アンケートや地域住民説明会などにも参加頂き効果測定
- ✓ 更に利用者動向からシステムの改善への助言と開発支援

エンリッチは、

- ✓ 用意されたアカウント安否通知サービスを提供し配信します。（無料）
- ✓ プロジェクトとして協力団体との定例会、導入活用説明会、個別相談対応



※つながりサービスは希望者に1年間無料で提供します。

自治体を動かす

8/2(金) 10:00からフォローアップ説明会を開きます。その他のご希望はメールにて

Zoomミーティングに参加する

<https://us04web.zoom.us/j/2754165290?pwd=UWhpRFJ4TmdEMzhHQnJlKzJtU0w2Zz09>

ミーティングID: 275 416 5290

パスコード: 1DYnkj

# 運営組織

法人名：特定非営利活動法人エンリッチ

場所：〒133-0051

東京都江戸川区北小岩2-18-16

電話番号：050-3702-5355



エンリッチホームページ



孤独・孤立 対策  
官民連携プラットフォーム

加盟登録：内閣官房 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員  
ほっかいどう 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員

協力団体：一般社団法人OSDよりそいネットワーク  
一般社団法人地域コミュニティ振興協会  
一般社団法人高齢者問題支援協会

代表理事：紺野 功  
理事：大久保 英輔  
理事：山田 洋輔  
理事：中路 良恵  
監事：成清 一夫

設立：2018年9月3日

<https://www.enrich.tokyo>

info@enrich.tokyo



独立行政法人福祉医療機構  
令和3年度補正予算 社会福祉振興助成事業  
主催:OSDよりそいネットワーク  
共催:特定非営利活動法人エンリッチ